

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和8年8月4日（火）議会運営委員会終了後 議会委員会室

出席委員（8名）

（臨時委員長）錦 織 陽 子

（委員長）大 下 哲 治 （副委員長）津 田 幸 一

新 井 章 太 今 城 雅 子 加 藤 彰 錦 織 陽 子

松 田 真 哉 三 木 三 枝

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

毛利局長 田村次長 松田調整官 田淵議事調査担当係長

傍 聴 者

門脇議員 前島議員 鷺尾議員

報道関係者 0 人 一般 0 人

協議事件

- ・ 正副委員長の互選
- ・ 市議会だよりについて

~~~~~

### 午前 1 1 時 0 2 分 開会

○錦織臨時委員長 ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、米子市議会広報広聴委員会要綱第6条の規定により準用する米子市議会委員会条例第8条第2項の規定により、年長の私が、委員長が互選されるまで委員長の職務を行います。

この際、お諮りいたします。互選の方法につきましては、指名推選の方法によることとし、臨時委員長の指名とさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○錦織臨時委員長 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

委員長には、大下委員を指名いたします。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○錦織臨時委員長 御異議なしと認めます。

委員長には、大下委員が当選されました。

委員長より就任の御挨拶があります。

〔臨時委員長と委員長の席交代〕

○大下委員長 ただいま委員長に指名されました大下です。皆さんのサポートをいただきながら、より良い議会だよりを作ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

引き続いて副委員長の互選を行います。

この際、お諮りいたします。互選の方法につきましては、指名推選の方法によることとし、委員長の指名とさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○大下委員長** 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

副委員長には、津田委員を指名いたします。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○大下委員長** 御異議なしと認めます。

副委員長には、津田委員が当選されました。

副委員長から就任の御挨拶があります。

**○津田副委員長** 津田幸一でございます。副委員長の大任を拝しました。しっかりと委員長をサポートして、円滑な委員会運営に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします

**○大下委員長** よろしくお願ひします。

次に協議事件２、市議会だよりについて協議いたします。

初めに、発行までの進め方について、事務局からの説明を求めます。

田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 米子市議会だよりの発行までの進め方についてご説明いたします。まず、ご承知のとおり議会だよりは年４回の発行をしております。次回の発行は１０月１日を予定しております。議会だよりの作成につきましては、広報広聴委員の皆様にご協議いただきながら事務局が調整・対応いたしまして、印刷会社に原稿を提出して発行しております。

前任期の委員会では、まず閉会日に委員会を開催いたしまして、表紙の写真と２ページ目の内容、裏表紙、つまり最後のページの３つの項目につきまして、簡単に頭出しをしていただきまして、その後、各パートの作成を担当される委員を決めていただきまして、担当委員から提出いただいた案を事務局と委員長と協議させていただきながら校正し、ラインワークスで全員と情報共有させていただいて最終的な案を仕上げておりました。その後、再度広報広聴委員会に諮り、最終決定をするという流れで進めておりました。

具体的に申しますと、表紙の写真につきましては特に担当者を決めておらず、委員の皆様に撮影をいただいた写真を委員会で出し合って選考していただきました。２ページ目の内容につきましては、主に定例会のダイジェストといたしまして、２、３項目程度予算化されました事業を上げていただいて、担当者に原稿案を作っていただきました。裏表紙、つまり最後のページにつきましては、市議会の動きとして目立ったもの、例えばこれまでは委員会の録画配信のお知らせであるとか、議会報告会・意見交換会の様子、委員会での視察の様子などの項目につきまして担当者に原稿案を作っていただきました。

今年度もこのように進めさせていただきたいと考えておりますが、発行までの進め方についてご協議いただければと思います。説明は以上です。

**○大下委員長** 事務局の説明は終わりました。委員の皆様からの質疑、御意見を求めます。

錦織委員。

○**錦織委員** 結局、私がした4年前からの2年間は、何回もこの委員会集まったんですけど、結局ラインワークスでほぼもう仕上げるということで、実際にはこの最終決定までに集まるということは何回ぐらいあるんですか。

○**大下委員長** 田渕係長。

○**田渕議事調査担当係長** 閉会日にまず頭出しをしていただきまして、次の委員会までに皆さんに集まっていたいで揉んでもらうということはありません。つまり2回開催を予定しておりまして、頭出しと最終決定、皆様に集まっていただく委員会はこの2つと考えております。

○**錦織委員** 分かりました。

○**大下委員長** ほかにありませんか。

今城委員。

○**今城委員** これまで委員をしてくださっていた方というのは数名だと思うんですけど、新しい議員さんもいらっしゃいますし、私も久しぶりだったと思うので、今回の件につきましては特に今の案で進めていただくということで。何かありましたら次、12月発行に向かっていくというようなところで、もう一度協議が必要であればということで、今回はこういう形でやらせていただくということでいいかなと私は思います。

○**大下委員長** よろしいでしょうか。

ないようですので、本件については終了いたします。

次に継続協議事項について、事務局からの説明を求めます。

田渕係長。

○**田渕議事調査担当係長** 継続協議事項についてご説明いたします。資料2をご覧ください。令和4年の改選以後、議会だよりの改善につきまして取り組んできました項目を載せております。右側の欄に、継続協議と記載のある項目がございますけれど、本日何か決めていただくということではございません。今後、年間を通して必要に応じて委員の皆様でご協議いただいて決定していただきたいと思っております。説明は以上です。

○**大下委員長** 事務局の説明は終わりました。

資料に継続協議と記載がある事項につきましては、今後年間を通して協議、検討していくということでよろしいでしょうか。

松田委員。

○**松田委員** 継続協議のところなんですけど、令和4年度の改選後の時にこういった課題というか協議項目が上がったということで。委員も変わって改選もあったので、これをこれから広報広聴委員会として継続協議に残っているものをやっていくべきなのか。ちょっと時間も経っているし、令和4年度とは皆さん、議員の考えとか市民の皆さんもちょっとこれはずれているんじゃないかというところもあると思うので。改めて、これを引き続きやっていくのかどうなのか、というところの整理がまず最初に必要じゃないかなと思いますけど。

○**大下委員長** どうでしょうか。

新井委員。

○**新井委員** 私も今の御意見に賛同するところがありまして、この内容等とか御意見というのが議員の中での発議なのか、それとも読者である市民の方からいただいたものなのかというところで、切っていいのか、それとも今後も協議事項として継続するべきかというところの定義は必要かなと思うので。当然読者の方、市民の方からいただいた意見であれば、継続協議と言いつつもある程度リミットを決めて、いつまでにこの反映を目指すのかということも必要だと思いますので、やっぱり改めてこれをすべて協議する必要があるのかというのはもう一回整理し直すということは私も必要かなというふうに思います。

○**大下委員長** もう一度整理し直すという意見が出ておりますが、ほかに御意見はありませんでしょうか。

錦織委員。

○**錦織委員** 言われてみればそうだなというふうに思います。今までは市民として、議員じゃない方の立場にあった委員さんは特に、議会だよりに対する、ちょっとこうしたほうがいいんじゃないか、とかいう気付きがあったりするのであれば、それを入れ込んでいくというのにも必要だと思いますし、ただ今回はもうすぐ9月議会にもなるので、今のこの形で進めて、その後にちょっと意見などもまとめて感想などもまとめてもらって、一度整理する機会を持ってもらったらどうでしょうか。

○**大下委員長** それはもう一度整理していただいた上で集まっていただくという形でしょうか。

錦織委員。

○**錦織委員** 検討経過として出されているんですけども、これを見ながら今回どうするかというのを、7月議会の議会だよりを作った後に、継続しながらその期間になるかもしれないですけど、もう一度、議会だよりどうしましょうかという委員会を開催してもらったらどうかと思っています。それはそんなに何回も開く必要はないかと思いますが、日程は改めてその分だけ、ということでございます。

○**大下委員長** 7月分に関しましてはこのままの流れで行って、その間に整理していただいて、再度協議する形という案が出ておりますがいかがでしょうか。

田淵係長。

○**田淵議事調査担当係長** 次が10月号という形になるんですけど、実は入稿期限というのがかなり迫っておりまして、ご協議いただくタイミングを持っていただく、委員会を開くということでもいいと思うんですけど、そのタイミングとして10月号にはちょっとその反映はできないというところで考えております。またその会で決めていただきまして、その内容が反映できる号に向けてまた協議をしていただき進めていきたいと思っております。

○**大下委員長** では10月号分はそのまま行って、日程の都合がついた時に再度という。ちなみにちょっとお聞きしたいんですけど、これまでの流れとか御存知ですかね。この委員会の流れについて。

三木委員。

○**三木委員** それも含めてですね、正の流れが分かっていないというのが一つですね。

○**大下委員長** 正直自分も何しているのかよく分からなかったもので、一度事務局の方から

説明していただいて、この議会だよりの流れについて。

三木委員。

**○三木委員** 先ほど大枠の流れを説明していただいたと思うんですが、スケジュール感ですよね。いつ頃までに写真は、というところも含めて教えていただければと思いますが。あと先ほど新井委員さんから検討経過ということで色々協議項目が上がっていますが、これがどれがどういう方から出たかというのも少し整理して教えていただけると。なかなかちょっと難しいと思いますが、よろしくお願いいたします。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** まずスケジュールについてですが、今回の項目の一番最後にスケジュールということで上げさせていただいておりますので、そこで説明させていただきたいと思います。

令和4年度からの協議事項としてどなたが言われていたかというのは、なかなか遡れないところがありまして難しいかなと思っているんですけど、どなたが言われていたかというところについて何か判断しないといけない理由とかございますでしょうか。

**○大下委員長** 三木委員。

**○三木委員** 先ほど新井委員さんも言われていた、協議をすること、もちろん市民の方に見ていただいて分かりやすいというのが一番なのですが、もし市民の方から強い要望がある項目があればそれはしっかりと検討していかなきゃいけない、切り捨てるのはやめた方がいいということですね。ただ、もしそれが時間がかかるようであれば、やっぱり市民目線で考えて、これは生かしていこうということで協議をしていただければいいかなと思います。以上です。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 市民目線というお話があったんですけど、ここに上げてある事項につきましては委員さんからいただいたところを上げさせていただいておりますので、その辺も含めまして市民の目線で、こういったところで改善していった方がいいのかということについてご協議いただけたらと思います。

**○大下委員長** 松田委員。

**○松田委員** 分かりました。ですので最初に私が言った中で、令和4年度の改選後の過去の委員会から、こういった意見があった方がいいんじゃないか、ということで協議事項が上がっていると。この協議事項について引き続き進めた方がいいのかどうなのかというのもですし、この時の協議の中で委員の方も新しく変わって、今回改選もあって新人の方もおられますので、そういう目線で、こういったこともあった方がいいんじゃないかということも含めて、これから何をしていくかというのを話し合えばいいかなと思うんですけど。

**○大下委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** 私も4年前に久しぶりに出た時に、結局皆さんが市民の人から、文字が小さくて読む気がせんわ、とか色々聞いて来られたのをここに反映されていると思うんですよ、勝手に思っていたわけでもなくね。だからある程度、市民の誰さんが言ったということはないですけど、議員さんが色々な人と話をする中で感じられたということだとか、写真

なんかは出す人が少なくて限られた人の分が何回か採用されるということもあったりして、それとか風景とか行事とかっていうのはタイムラグがあるもんだから、作った時と見る時とちょっと合わないというようなこともあったりして、委員さんが写真撮って出すというのもいいんじゃないかということで変わって。顔出しするのも、子供さんはちゃんと親御さんにチェックをもらったりとか、そういうこともいろいろしながらやってきたので、そういうことも含めてやっぱり風景の方がいいんじゃないかという意見がまた委員さんから出れば、変更しても構わないと。これじゃないと駄目だということはないので、その時はそうしたけれどみたいなことであればいいと思いますけれど。そういうことも含めてもう一回話し合ってね。

それで、事務局に聞きますけれど、これって毎年変わるんですかね委員が。任期は1年だっけ。

**○大下委員長** 田村次長。

**○田村事務局次長** 広報広聴委員の任期も1年でございます。常任委員会の委員と一緒に。

**○大下委員長** 今城委員。

**○今城委員** 任期の件もこの後とか色々な形で出てきますので、この後の委員会を進めながらと思っているんですけど、一つ、私の認識的になんですが、先ほどおっしゃっていた議会だよりに関する検討経過等、これは結局次の議会に持ち越しというか伝達というのを踏まえていただいた前委員会からの申し送りという意味でのことだったり、内容的には今こういう状況ですよということだと私は認識をしているところで。先ほどからの話、田淵係長もおっしゃっていたんですけど、ここから出ているものというのは、私の認識では、会派とかでも話をしている中では、これまで委員会の中で検討されたり今後このようにしないといけないということや対応してきたことが、こういう形でここに上がってきているところだと思っています。

そう意味で、一番最後にアンケート調査というところがあって、これは継続して協議ということになっているんですけど。一応、基本的にこの内容的なことというのはこれまで委員会で皆さんが検討し話をした中で上がってきていることなので、もしかするとこのアンケート調査をどういう風にしていくのかということについてのことを少しスピードアップしながら、例えばグーグルフォームとかで議会だよりにそういうものを、10月は無理だと思いますので12月発行とかでそういうものを作って、そこで上がってきた内容とかについてのことを今後検討事項としてやるということが可能であれば。もちろんどういう内容のことをグーグルフォームとかに入れるかということも踏まえて、アンケート調査どうするのかということも一緒にしながらすることによって、もしかしたらこの検討事項のところがもう少しずつ前進するものや取捨選択してもいいのではないかということなども出てくる可能性もあるかなという風にちょっと私は考えるところもありますので。そういうところもどうするか、もちろんアンケート調査をするのかしないのかということも委員会でも揉んでいった上で、やるということに決まればどういう内容でやるのか、どういう手法でするのかということも今後やっていく、ということ踏まえると、大体この今後検討していくもの、若しくは改良していくものなど、内容的なものが少し見えてくるのか

なという風に思っているところです。なのでちょっとそこら辺については先ほど来もありましたが、もう少し具体的なものを作っていくということをここで今確認をすれば、もうこの経過のことについてはこれで終了でいいのかなと私は思うんですけど。

皆さんのご意見を委員長に諮っていただければと思います。

**○大下委員長** 皆さん、ご意見はどうでしょうか。

〔「異議なし」「同意」と声あり〕

**○大下委員長** 異議なしと認め、そのように決定いたします。

次に、10月1日発行の市議会だよりの原稿案について、事務局からの説明を求めます。  
田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 10月1日発行の市議会だよりの原稿案について説明させていただきます。本来であれば委員の皆様に出しをいただきながら表紙、裏表紙といったものを作成するところがございますけれど、議会だよりの印刷会社への入稿期限が8月20日ということで迫っておりまして、改選後の初めての議会だよりの掲載内容というのは、そもそもだいたい型が決まっておりますので、議会事務局で先に仮作成させていただきました。それぞれ皆様に御確認いただいた上でこの場で決定しまして、その内容で10月号を発行したいと考えております。つまり先ほど2回委員会を開く、と伝えましたが、次の委員会は開かずにこの場でこの3項目について決めたいという意図でございます。

まず表紙について御確認いただきたいと思います。次号の表紙は改選後の議員の皆様の集合写真としています。

次に2ページ目について御確認いただきたいと思います。2ページ目は定例会の概要と正副議長の就任挨拶としています。挨拶文につきましては正副議長の決裁をいただいているものでございます。

次に3ページ目について御確認いただきたいと思います。3ページ目は委員会の構成としております。広報広聴委員会のメンバーにつきましては後で掲載させていただきたいと思っております。また、中段の常任委員会の所管事項の都市経済委員会の部分ですけれども、下水道部・水道局と分けて掲載しておりますけれど、これはちょっと古いものになりまして、上下水道局と改めて掲載する予定としております。

次に裏表紙について御確認いただきたいと思います。裏表紙は顔写真付きの議員の紹介としています。左下部分の枠につきましては広報広聴委員会のメンバーを掲載させていただく予定としております。それぞれこの案の通り発行してよろしいか、皆様には御協議いただきたいと思います。説明は以上でございます。

**○大下委員長** 事務局の説明は終わりました。委員の皆様からの御意見を求めます。

松田委員。

**○松田委員** 先ほどスケジュールの話があったんで、私は表紙が改選で新しくなったメンバーなんで、少しデザインも変えてやるというのがいいのかなと思ったんですけど、なかなか今回のものはスケジュール的には難しいのかなというところですかね。前回の委員会で見ると、B案というのでちょっと違ったデザインが貼ってあって、ああいうのとか少し変わったら「ちょっと変わったな、議会が。」というのが分かっていいかなと思ったんですけど。そのあたり、スケジュールも含めて。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 おっしゃられた意図はすごく分かりまして。デザインであるとかというところの編集というのは、やはり印刷会社との調整が必要になりまして。そういったものをあらかじめお伝えをして案を作っていくということになるので、今回のスケジュールで8月20日にはすべて入稿していかないといけないというところがありまして、今回につきましてはちょっと間に合わないかなというところでは思っております。

○大下委員長 松田委員。

○松田委員 分かりました。ですので次回以降のところは、やはりちょっと変わったんで、デザインもせっくなので変えた方がいいのかなと私は意見しておきます。以上です。

○大下委員長 ほかに意見ありませんか。

津田委員。

○津田委員 私もデザインの方は、表紙は前回の時に誰かが言われたんですよね、改選前にデザインが変わった方がいいんじゃないか、みたいな話がされてまして。私ももうちょっとデザインを一新した方がいいかなという風を感じております。

それからちょっと聞きたいんですけど、さっきの協議事項の中に、一般質問の文字が小さいということだったんですけど、これ例えば大きくした場合に、ページ数というのは増やすのは可能なんでしょうか。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 ページ数につきましては、議会だよりは予算が1ページ何円というようにところで決まっております、その範囲内で進めていきたいと、今年度につきましてはそういった進め方をさせていただけたらと思います。

ただ委員会を開く中で文字を大きくしてページ数を増やしていきたいというようなことがありましたら、それについても予算の兼ね合いも含めまして協議を進めて決めていく、という流れになると思います。ただ、このページ数につきましては削減していくというような全体的な流れもありますので、文字を大きくしたらやはり掲載する内容もちょっと少なくしていくとか、1項目にするとかですね、そういった議論も必要になるのかなというふうには思っております。

○大下委員長 津田委員。

○津田委員 よく分かりました。お金がかかるということもありますし、今後、文字を大きくするんだったらもっと少なく、削減していくという部分も必要だということで。すぐすぐには決まらないということはよく分かりました。以上です。

○大下委員長 ほかに御意見ありませんか。

御意見がありませんので、事務局の提案のとおり決定いたしたいと思いますがよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○大下委員長 異議なしと認め、そのように決定いたします。

次に、A I 作成の文字起こしデータを利用した議会だよりの原稿作成について、事務局からの説明を求めます。

田渕係長。

**○田淵議事調査担当係長** A I 作成の文字起こしデータを利用した議会だよりの原稿作成について説明をさせていただきたいと思います。資料を御覧ください。この資料はすでに7月23日付けで皆様にラインワークスを通じてお知らせさせていただいているものになりますけれど、一般質問を行った議員の皆様に行っていただきます議会だよりの原稿作成について、重要な変更点がございますので、改めて広報広聴委員会の場で皆様に説明させていただきたいと思います。

これまで一般質問の原稿を作成していただく際は、民間事業者が会議音声文字起こししたデータを荒原稿として皆様にお渡しし、そこから掲載部分を抜粋・推敲していただいております。この荒原稿でございますけれど、今年度からはA I が文字起こししたテキストデータを荒原稿として提供したいと考えております。これは議会中継のA I 字幕を利用するものでございまして、皆様が推敲しやすいように、どこが質問でどこが答弁なのか明確に分かるよう、あらかじめ事務局で整理した状態でお渡ししたいと思っております。

このように変更する理由でございますけれど、実は近年市内の印刷業者さんで慢性的な人手不足が起きておりまして、印刷工程にどうしても日数がかかるというお話を伺っております。そのため印刷会社へ入稿する期限がこれまでよりも早くなっております、民間事業者の文字起こしを待ってから作業を進めていたのは、議会だよりを予定通り発行できなくなってしまうという判断をさせていただきました。これらの理由から、誠に恐縮でございますけれど、議会最終日である本日8月4日に議会事務局から皆様へA I 字幕を利用して作成した荒原稿、こちらをメールでお送りいたしますので、原稿を作成いただきまして、中3日あけまして8月10日までに事務局に御提出いただきたいと思いますと考えております。

議会だよりを滞りなく市民の皆様へお届けするため、何卒御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。説明は以上でございます。

**○大下委員長** 事務局の説明は終わりました。委員の皆様からの質疑、御意見を求めます。今城委員。

**○今城委員** 事前に連絡も頂戴していますし、物理的な問題等もありますので、これでスケジュール感も含めて私は了解いたします。多分委員会の皆さんもそうだと思うんですけど、一番心配されるというか気になるのは、今日から約1週間ほどになると思うんですけど、新人の議員の皆様が原稿としての形を作って提出が10日までになるというのが、どれくらい理解いただいているのかということ。2項目ですよということも含めて、そこがちょっと心配になるというか、いらん心配をしているところです。

ということで、どこかで皆さんにこの件についてお知らせするという、口頭できちんとした形でお知らせするというタイミングが今日までのところで取れていないので、ちょっと丁寧な形で、具体的な形を持ってお伝えしないと新人の議員さんたちは難しいかもしれない、と。今日、議会が終わってしまったから今さらこの事言っても申し訳ないって感じなんですけれど、ちょっと危惧しているので、その辺のところを具体的にはどうするかというところ、ここで協議するのか、お願いしますで終了してしまっているのか、ちょっとどうでしょうと思ったりします。以上でございます。

**○大下委員長** 田淵係長。

**○田淵議事調査担当係長** 今日原稿をメールで送らせていただく予定にしているんです

けれど、原稿と荒原稿だけお渡しして「はい、書いてください。」というものではなくて、作成例、今城議員がおっしゃられた2項目であるとか、何文字以内でというようなこともしっかり書かせていただいて、それを合わせてメールで送らせていただきたいと思いますので、それに対応させていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

○大下委員長 錦織委員。

○錦織委員 それでいいと思うんですけど、ただやっぱり人間ですので、ひと声かけてもらうという努力が必要かなと。こういう風にして何か問題があれば事務局に遠慮なく相談してくださいとかいうのは、特に新人議員さんに対しては必要かなと思います。

○大下委員長 今城委員。

○今城委員 各会派の会長さんとかにも一度、そういったことがありますよということをお伝えいただいた上で、会派で責任を持ってとは思わないんですけど、全く知らなかった、みたいにならないように。なにせ日程がタイトなので。ちょっと頑張らないと思うことと、もし後で質問があるようでしたら、担当の職員の方がお一人お一人決まると思いますので、その方にサポートをお願いするならその辺のことも言うておかないとちょっと難しいかもと思うので。とりあえず皆様に同じようにお知らせいただくのと同時に、会派の会長の皆様には少しお伝えしておいていただければなと思いますのでお願いします。

○大下委員長 田淵係長。

○田淵議事調査担当係長 承知いたしました。今おっしゃられたことを踏まえまして対応させていただきたいと思っております。新人議員さんにつきましては。作成について議会事務局の担当が付きますので、分からないことがありましたら何でもおっしゃっていただければ回答させていただいて、スムーズな作成につなげていきたいと思っております。

○大下委員長 松田委員。

○松田委員 この進め方で私はいいと思います。

今後の形は、A Iで文字起こしとなると、今回も4日にデータが僕らに入って10日に提出で、まあ時間はそんなにかないのかなって感覚なんですけれど、やっぱり閉会をしたらじゃないと文字起こしのデータというのは来ないんですか。そういうものなのですか。スタートが早ければ余裕もあるのかなと思ったので。

○大下委員長 田淵係長。

○田淵議事調査担当係長 これは私の方で上司とも話をしまして、皆様お忙しいので、閉会日を迎えてからお渡しした方がいいんじゃないかという事で判断しまして本日お渡しすることになるんですけど、実はA I字幕というのは、各個質問が終われば出来てますので、その後どれくらいの期間で私達が編集するかということで。だいたい3日、5日、それくらいで出来ますので、もし皆様の方で早く原稿をもらって作成したいというお声があるようでしたら、そのような運用に変えていきたいという気持ちはございます。

○大下委員長 松田委員。

○松田委員 閉会してからでもいいんですけど、閉会から入稿までがあまりタイトだときついなところはあるんですけど、次回も同じような、6日ぐらいになる感じですか。そのあたりが、2週間ぐらいあればなんとなく余裕があるのかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 これは入稿スケジュールから逆算をして、いつまでに議員さんから原稿をいただかないといけないというので中3日で、としているんですけど、松田委員がおっしゃられたように各個質問が終わってから3日後くらいに皆様に荒原稿をお渡ししてということになると、2週間待っていただいたりとか、中3日じゃなくて1週間2週間待って事務局に提出していただくというようなことは可能になるかなと思います。

○大下委員長 松田委員。

○松田委員 あまり負担が重くなってもいけませんけれど、ただちょっと6日間というのはタイトなところがあるので、改善が可能であれば今後検討していただければと思います。以上です。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 初めてA Iの荒原稿でお渡しするので、その荒原稿を見られて、本当にこれでいいのかみたいなことも、多分ないと思うんですけど、もしあればそこでもまた検討が必要になるので、日数が必要だなという話になるかもしれないので、またそれを見ていただきながら検討していきたいと思います。

○大下委員長 松田委員。

○松田委員 これは荒原稿が上がってきて、それをまた事務局の田渕さんの方で見られてチェックされるわけですか。その後のものが出てくるのがこの4日という流れで、ワンクッション作業が入っているということですか。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 おっしゃる通りで、テキストデータで原稿がそのままずらずらと長文で出てくるんです。これを皆様にお渡しすると、どこが発言者でどこが答弁者なのかが一見では大変分かりにくくございます。なので私どもの方で一度編集をして分かりやすくした状態でお渡しをしようというところで、ワンクッション置いて皆様にお渡ししたいと思っております。

○大下委員長 加藤委員。

○加藤委員 自分も鹿児島、南さつまの方で広報委員会やっています、その時はさっき言われたような編集する前のやつをいただいてましたんで、その方がすぐ手元に来ますんで、ある程度分かりますんで、時間があつたかなと。できるだけ早くもらいたいなという思いの方が強いので、それからまた編集されたらもう一回もらえるような形にしてもいいのかなという思いはしておりますけれど、手間でしょうかね。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 そもそもの運用としまして、皆様が原稿作成されたものは一回事務局が預かって、整理したものをもう一度議員さんにお返しします。そこで確認していただいて最終的な原稿とさせていただきますので、よろしくお願いします。

○大下委員長 ほかに御意見ありませんか。

新井委員。

○新井委員 先ほど新人議員への配慮ということで、メールでデータをお送りいただく時に記載容量とかある程度示していただけるということだったんですけど、この原稿の入

稿にあたって何かフォーマットを作るとか、そういったものは過去何かあった話ですか。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 原稿のフォーマットというのはありませんで、それに入れていただくというものになります。文字数制限もありますけれど、そのフォーマットを見ていただけたら、入っている入っていないというのが、一見して分かるような流れになっております。

○大下委員長 新井委員。

○新井委員 ありがとうございます。

○大下委員長 ほかに御意見ありませんか。

加藤委員。

○加藤委員 そのフォーマットを見ていないんですけど、文字数がここにあって原稿みたいな感じでここまでという形だと思うんですけど、例えばイラストだとか写真を入れるとか、そういうのも分かるようになっていきますか。新人の方が、それが来た時にイラストは一箇所だけだとか、これだけのサイズじゃないといけないとかということも分かるんですか。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 イラストにつきましては入れていただいても結構です。写真も入れていただいて結構です。ちょっと説明文の中にそれが入っていたかどうかというのは手元にその資料を持っていないので分からないんですけど、分かりやすくさせていただいてお送りしたいと思います。

○大下委員長 ほかに御意見ありませんか。

ないようですので本件につきましては終了いたします。

次に、次号 12 月号の発行スケジュールについて、事務局からの説明を求めます。

田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 7 月定例会の内容を報告する 10 月号の中身につきましては本日決定いただきましたけれど、次の 9 月定例会の内容を報告する 12 月号の中身の検討につきましては、9 月定例会の最終日となります 10 月 1 日の本会議終了後に広報広聴委員会を開催させていただきまして、皆様に表紙のデザインであるとか、2 ページ目に掲載する議決した予算等のダイジェスト、そして裏表紙の 3 項目の頭出しをしていただきたいと思いますと思っております。

またデザインの話もありましたけれど、デザインについてこの前に広報広聴委員会が開催されて、もし何か方向性が決まればその辺も反映させていただきたいと思っております。それから頭出しの際に表紙の写真の候補が必要になるわけですが、委員の皆様にはスケジュールに記載のとおり 9 月 18 日金曜日を期限といたしまして、それぞれ写真を撮影していただきまして事務局のメール、田渕宛てにご提出いただきたいと思いますと思っております。

なお、写真につきましては継続事項にも記載がありましたが、動きや表情が感じられるものを目指す、といった方針がありました。今のお話でこの方針が変わるかもしれないですけど、主に人物を対象に撮影をずっとしてございました。撮影される際は広報誌に市民の方を掲載することになった場合の肖像権の承認に関する同意書を、撮影者である議員の

皆様が被写体となられる市民から直接取っていただく必要がありますので、あらかじめ掲載された場合を見越してその場で同意書を記載してもらっておくか、記載が決まった後にすぐ連絡を取って同意書を記載していただけるよう、お名前と連絡先を控えておく必要がありますのでご注意ください。これはあくまで人物が被写体になった場合を想定してお話ししております。その方には肖像権があって、肖像権の同意書を皆様から取っていただく必要があるということでございます。

頭出しをしていただいた後、最終的に表紙、2 ページ目の議決した予算等のダイジェスト、裏表紙を決定する委員会を10月19日月曜日に開催したいと考えております。このスケジュール案のとおり進めさせていただいても良いか御協議いただきたいと思います。説明は以上です。

○大下委員長 事務局の説明は終わりました。委員の皆様からの質疑、御意見を求めます。津田委員。

○津田委員 事務局に聞いてみたいと思いますけれど、写真のストックというのはあるのでしょうか。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 確か無かったかなと思いますので、皆様に頑張って撮っていただきたいと思います。

○大下委員長 津田委員。

○津田委員 分かりました。また良い題材があったら探してみたいと思います。

○大下委員長 三木委員。

○三木委員 ちょっと分かっていないので教えてください。委員の方々が全員で撮って、その中から毎回毎回、全員で撮って1枚ということなんですか。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 私の方からは皆様に御案内をして撮ってきてくださいということをお願いをしているんですけれど、必ずしも全委員さんからいただいているわけではなくて、提出いただいた委員さんの写真を皆様で選んでいただいていたという経過がございます。

○大下委員長 三木委員。

○三木委員 ありがとうございます。なるべく良い写真が撮れるように頑張ります。

○大下委員長 加藤委員。

○加藤委員 人物みたいなんですけれど、やっぱり風景は駄目なんですかね。

○大下委員長 田渕係長。

○田渕議事調査担当係長 継続事項の中でそのような対応しているという書き方はしているんですけれど、先ほど松田委員からお話があったように、それも含めて検討していただいて、風景写真でもいいんじゃないかということでありましたら、そのような写真を撮っていくという流れでもいいんじゃないかなと思うんですけれど、それは皆様で御協議いただけたらと思います。

○大下委員長 ほかに御意見はありませんか。

ないようですので、本件につきましては終了いたします。

最後にその他、皆様から何かございますか。

〔「なし」と声あり〕

**○大下委員長** 以上で広報広聴委員会を閉会させていただきます。

**午前 11 時 50 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴臨時委員長 錦 織 陽 子

広報広聴委員長 大 下 哲 治